

## 第4学年 国語科 学習指導案

対象 第4学年1組 児童 24名

指導者 杉山 綾子

対象 第4学年2組 児童 22名

指導者 村上 琢磨

1 単元名 きょうみをもったことを中心にしょうかいしよう「風船でうちゅうへ」

### 2 単元の目標

文章を読んで、筆者の考えとその理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解したことに基づいて、感想や考えをもち、感じたことや考えたことを共有し、感じ方などに違いがあることに気付くことができる。また、様子や行動を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	①文章を読んで理解したことにもとづいて、感想や考えをもち、感じ方などに違いがあることに気付いている。	①進んで、文章を読んで理解したことにもとづいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する活動に取り組もうとしている。
②筆者の考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	②文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

### 4 単元指導計画

次	時	学習活動	知・技	思・判・表	態
1	1	・風船で何をしようとしたのかを予想する。 ・学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。			① 観察
2	2	・文章の大体の内容を確かめ、自分が読んでいて気になったところをはっきりさせる。	① スプレッドシート		① 観察
	3	・「初め」と「終わり」から、気になったところに沿って大事な言葉や文を書き出す。	① スプレッドシート ワークシート		① 観察
	4	・「中」を読んで、それぞれの風船や装置の特徴と打ち上げた結果を捉える。	② スプレッドシート ワークシート		① 観察
	5	・「中」を読んで、打ち上げた結果から筆者が考えたことを捉える。 ・気になったところに沿って、大事な言葉や文を書き出す。	① スプレッドシート ワークシート		① 観察
	6	・自分が気になったところに沿って要約する。		① スプレッドシート ワークシート	① 観察
	7本時 8	・紹介文の構成を確かめる。 ・気になったところに沿って紹介文を書く。		② スプレッドシート ワークシート	① 観察
	3	9	・グループで紹介文を読み合い、感想を伝え合う。 単元の学習を振り返る。		② ワークシート

5 本時のねらい (第7/9時)

自分の気になったところに沿って、「風船でうちゅうへ」を紹介する文を書くことができる。

6 本時の展開 (1組)

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時までの振り返りを読み合い、進め方や意見を共有する。 ・気になったところは人によって違う。 ・お家の人に紹介文を書いて、装置のすごさを知ってほしい。	○前時までの学習の流れを提示することで、本時のめあてを理解し、学習の見通しをもち、他の児童の学習の進捗も参考にしながら自分のめあてを立てることができるようにする。  【Think】
	自分の気になった点にそって「風船でうちゅうへ」を紹介する文を書こう。	
展開	2 紹介文の構成や書き方を確認する。 ・電子黒板や学びの手引きを見て進めよう。 ・友達の作成途中の紹介文を見て、構成や書き方を参考にしよう。 3 「風船でうちゅうへ」の紹介文を書く。 ・学び方(一人、友達と、先生と)を決めよう。 ・自分のスピーチの様子を動画に撮って、相手に伝わりやすいか確認しよう。	○学習形態を確認することで、「一人で」「友達と」「先生と」から学習形態を選ぶことができるようにする。 【Select】 ○教師の紹介文の構成、書き方や、児童の紹介文の構成、書き方などを、スプレッドシートで共有することで、児童が主体的に学び続けられるようにする。【Think】 ○類似した内容やまとめ方をしている児童を紹介したり、適宜「学び合い」の時間を取ったりすることで、自分の気になるところに沿った紹介文が書けるようにする。 【Share】 ★文章を読んで理解したことにもとづいて、感想や考えをもっている。(スプレッドシート、ワークシート)
まとめ	4 学習を振り返り、次時の見通しを立てる。	○振り返りの視点に沿って本時の学習を振り返ることで、本時で学んだことをスプレッドシートに書くことができるようにする。

TSS に関する手だて

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
他の児童の学習の進捗を参考にすることで、自分のめあてを立てることができるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
スプレッドシートから互いのテーマや進め方が分かるようにし、「一人で」「友達と」「先生と」の学習形態を適切に選択して学習を進められるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
複数のモデル(見本の文章・紹介文の構成表など)を用意し、児童が選んで主体的に学べるようにする。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫  
適宜教師が助言したり、「学び合い」の時間を取ったりすることで、自分の考えを構築しやすくする。学び合う時には、話型を活用して質を高めていく。

5 本時のねらい（第7／9時）

自分の気になったところに沿って、「風船でうちゅうへ」を紹介する文を書くことができる。

6 本時の展開（2組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	<p>1 前時までの振り返りを読み合い、進め方や意見を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもったところは人によって違う。</li> <li>・お家の人に紹介文を書いて、諦めないことの大切さを知ってほしい。</li> </ul>	<p>○前時までの学習の流れを提示することで、本時のめあてを理解し、学習の見通しをもち、他の児童の学習の進捗も参考にしながら自分のめあてを立てることができるようにする。</p> <p>【Think】</p>
	<p>自分の気になった点にそって 「風船でうちゅうへ」を紹介する文を書こう。</p>	
展開	<p>2 紹介文の構成や書き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板や学びの手引きを見て進めよう。</li> <li>・友達の作成途中の紹介文を見て、構成や書き方を参考にしよう。</li> </ul> <p>3 「風船でうちゅうへ」の紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学び方（一人、友達と、先生と）を決めよう。</li> <li>・書き終えたら読み直して、録音機能で録音してみよう。</li> </ul>	<p>○学習形態を確認することで、「一人で」「友達と」「先生と」から学習形態を選ぶことができるようにする。</p> <p>【Select】</p> <p>○教師の紹介文の構成、書き方や、児童の紹介文の構成、書き方などを、スプレッドシートで共有することで、児童が主体的に学び続けられるようにする。【Think】</p> <p>○類似した内容やまとめ方をしている児童を紹介したり、適宜「学び合い」の時間を取ったりすることで、自分の気になる点に沿った紹介文が書けるようにする。</p> <p>【Share】</p> <p>★文章を読んで理解したことにもとづいて、感想や考えをもっている。（スプレッドシート、ワークシート）</p>
まとめ	<p>4 学習を振り返り、次時の見通しを立てる。</p>	<p>○振り返りの視点に沿って本時の学習を振り返ることで、本時で学んだことをスプレッドシートに書くことができるようにする。</p>

TSS に関する手だて

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
他の児童の学習の進捗を参考にすることで、自分のめあてを立てることができるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
振り返りシートなどを参照し、互いのテーマや進め方が分かるようにし、協働する相手を適切に選択できるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
大枠を紙ベース、データベースで示し、自分に合った方法で考え、表すことができるようにする。また、発表の対象や目的を事前に伝え、焦点を合わせて考えられるようにする。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫  
毎時間の最後の振り返りの時間に、スプレッドシートに振り返りを書く。振り返りシートは、児童同士で読み合うことができるようにし、適宜、本時の進め方の参考にすることができるようにする。また、各自の判断で直接話を聞きに行くことができるようにする。